

平成24年11月21日

(2012年)

図書館協議会資料

吹田市立中央図書館

吹田市立図書館と学校図書館の連携について（報告）

子どもたちの読書活動や学習活動の推進をはかるために、学校と図書館が連携し、資料や図書館運営のためのノウハウを共有化することは、学校・図書館双方にとって大切なことです。

1. 吹田市立図書館が学校にしているサービス

①団体貸出・・・学校単位で借出カードを作成。1校につき100冊まで1ヶ月間貸出します。

事前にFAX（専用用紙あり）で依頼してもらい全館から本を集めて提供しています。

ただし、同時期に重なることも多いので1テーマで40冊までとしています。

「朝の読書」用に借りられる学校もあるようです。

行事用に大型絵本・大型紙芝居の貸出もできます。

②図書館見学・・・学校から学年単位などで図書館見学を受け入れています。（日時、内容とも要相談）。

内 容：図書館の利用案内、パネルシアター、大型紙芝居、絵本の読み聞かせ、ブックトークによる本の紹介などの実演と館内見学および質問の受付を行っています。

③学校訪問・・・司書が学校を訪問して、②の内容を行なう、いわば出前図書館案内です。

④情報提供

・本の紹介を中心としたパンフ「おめでとう1年生」を小学1年生全員分送付しています。

・団体貸出、図書館見学についての案内を4～5月に送付→書式をいつでもダウンロードできるように、事務ナビに掲載しています。

・夏休み文庫の本の紹介パンフレット「もうよんだかな？」（幼稚園～小学生向き）

「てくてく」（ティーンズ向き）を夏休み前に各校に送付しています。

・中学生に「てくてく ミニ版」を送付しています。

・その他、「子どもと本のまつり」など図書館行事の案内ビラやポスターなどを送付しています。

⑤レファレンス（資料調査）・・・特定のテーマの本を探しにきた子どもたちや教職員に

本を探す援助を行なっています。一人の子に貸してしまって本がないということがないように、事前に課題の内容を連絡してもらとうありがたいです。

例) 各国の料理、下水処理場、江戸時代のゴミの量、米、方言、大阪の著名人など。

⑥リサイクル図書の委譲

市民に図書を提供するリサイクルフェアの前などに、学校や公共施設に優先的にお知らせをしています。

⑦「もうよんだかな」セットの貸出

過去の夏休み文庫で紹介した本（「もうよんだかな？」と「てくてく」に掲載分）を学年に合わせて40冊をパックして貸出します。貸出時は図書館から運搬も可能です。

⑧その他、職業体験学習の受け入れ、学習会の講師（絵本の選び方や読み聞かせの方法、新刊やおすすめ本の紹介など）、学研図書部会の先生方との交流会などを実施しています。

2. 今後の課題

① 物流

現状では、学校から教職員が図書館へ資料を借出しに来て、また返却に行かなければならない（先生の個人的な努力によるところも多いようです）。

学校連絡等物流の確保が出来て資料の運搬ができれば、連携しやすくなる（団体貸出の本も「もうよんだかな」セットの本も貸出・返却とも学校連絡便に乗せられる）。学校図書館間も巡回できたら資料の融通がきくと考えられます。

② 団体貸出の貸出冊数枠の拡大

学校図書館、市立図書館ともに資料費（図書や雑誌・新聞、AV資料を購入する予算）が不十分です。図書館で別枠で団体貸出用の図書購入が出来れば貸出冊数枠もふやせると考えています。